

第1回 トップアスリートのまち・北区推進協議会 次第

日時：令和4年6月29日（水）午後7時～

場所：北とびあ7階第2研修室

1 開会

2 座長あいさつ

3 報告事項

- (1) トップアスリートのまち・北区推進協議会について（資料1）
- (2) 「トップアスリートのまち・北区」の取組みに関する報告及び今後の展開について（資料2）
- (3) ハンガリー関連事業の展開について（資料3）

4 協議事項

- (1) 協議会内での情報共有・発信について（資料4）
- (2) 協議会内での事業連携について（資料5）

5 情報提供

- (1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会1周年記念事業（都内非営利団体等向け）について（資料6）
https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/shunen_npo/

6 各団体・機関からの報告

7 今後のスケジュール

8 閉会

【配付資料一覧】

- ・次第
- ・協議会構成員名簿
- ・席次表
- ・(資料1) トップアスリートのまち・北区推進協議会について
- ・(資料2) 「トップアスリートのまち・北区」の取組みについて
- ・(資料3) ハンガリー関連事業の展開について
- ・(資料4) 協議会内での情報共有・発信について
- ・(資料5) 協議会内での事業連携について
- ・(資料6) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会1周年記念事業(非営利団体向け)について

令和4年度 トップアスリートのまち・北区推進協議会構成員名簿

区分	No.	団体・機関等	氏名(敬称略)
学識経験者	1	東洋大学 ライフデザイン学部健康スポーツ学科	齊藤 恭平
スポーツ	2	北区スポーツ大使	高橋 勇市
	3	北区スポーツ大使	上田 春佳
	4	北区スポーツ大使	石野 枝里子
	5	北区スポーツ大使	宇山 賢
	6	北区スポーツ大使	小川 仁士
	7	北区スポーツ大使	澤田 優蘭
	8	日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスセンター運営部	中村 勝尚
	9	東京都障害者総合スポーツセンター	高山 浩久
	10	東京都北区体育協会	田草川 昭夫
	11	特定非営利活動法人 れっど★しゃっふる(総合型地域スポーツクラブ)	宮坂 一朗
	12	コムスポたきのがわ(総合型地域スポーツクラブ)	大竹 秀樹
	13	北区スポーツ推進委員協議会	葛西 大
	14	東京ヴェルディ株式会社	常田 幸良
	地域・産業	15	北区町会自治会連合会
16		北区商店街連合会	尾花 秀雄
17		東京商工会議所北支部	越野 充博
文化・観光	18	一般社団法人 東京北区観光協会	大前 孝太郎
	19	公益財団法人 北区文化振興財団	石山 泰史
教育	20	北区立小学校体育会	江口 千穂
	21	北区立中学校体育会	守谷 暢明
	22	北区立小学校PTA連合会	針谷 泰介
	23	北区立中学校PTA連合会	関口 正法
	24	北区青少年地区委員会	鈴木 将雄
	25	北区青少年委員会	恒松 晃
行政	26	北区政策経営部	中嶋 稔
	27	北区地域振興部	松田 秀行
	28	北区教育委員会事務局教育振興部	小野村 弘幸

※令和4年度新規構成員については、太字・下線標記しています。

第1回 トップアスリーのまち・北区推進協議会 席次表

令和4年6月29日(水)

北とびあ7階 第2研修室

敬称略

東京都商工会議所北支部
 会長 越野 充博
 北区商店街連合会
 会長 尾花 秀雄
 東洋大学
 ライフデザイン学部
 講師 谷塚 哲
 東洋大学
 ライフデザイン学部
 教授 齊藤 恭平
 北区町会自治会連合会
 会長 大貫 新一
 北区スポーツ大使
 高橋 勇市
 日本スポーツ振興センター
 HPSO 運営部長
 中村 勝尚
 東京都障害者総合
 スポーツセンター
 スポーツ支援課長
 高山 浩久

	副座長	座長	
東京都北区体育協会 専務理事 田草川 昭夫			東京北区観光協会 会長 大前 孝太郎
れつど★しゃつふる 副理事長 宮坂 一朗			北区文化振興財団 事務局長 石山 泰史
コムスポたきのがわ 理事長 大竹 秀樹			北区小学校体育会 江口 千穂
北区スポーツ推進委員協議会 会長 葛西 大			北区中学校体育会 守谷 暢明
東京ヴェルディ 常田 幸良			北区小学校PTA連合会 針谷 泰介
政策経営部長 中嶋 稔			北区中学校PTA連合会 関口 正法
教育振興部長 小野村 弘幸			北区青少年地区委員会 会長 鈴木 将雄
地域振興部長 松田 秀行	北区青少年委員会 会長 恒松 晃		
事務局			

スポーツ推進課トップアスリーのまち推進係

受付

傍聴者席

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

出入口

トップアスリートのまち・北区推進協議会資料
令和 4 年 6 月 29 日
スポーツ推進課

トップアスリートのまち・北区推進協議会について

1 目 的

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京 2020 大会という。）に向けて、関係団体・地域の連携強化を図り、北区全体で開催気運を醸成するとともに、地域の自主的な取組みを促進するため、関係団体・地域等で構成された「北区リレーションシップ協議会」を平成 28 年度より開催してきた。

東京 2020 大会終了後も、開幕前から北区リレーションシップ協議会において北区関係団体・機関、地域及び北区が一体となって取り組んで得たものを東京 2020 大会のレガシーととらえ、継続的に関係者間の情報共有並びに連絡調整の強化及び更なるスポーツ推進を目的に、令和 4 年度以降もトップアスリートのまち・北区推進協議会を設置した。

なお、協議会の設置期間は、令和 4（2022）年度からパリオリンピック・パラリンピック競技大会開催年の令和 6（2024）年度を暫定期間とする。

2 概 要

（1）構成員

①スポーツ、町会・自治会、商工関係、文化・観光、教育等の分野における関係団体・機関等から 28 名で構成。

※令和 4 年 3 月 28 日付で新たに北区スポーツ大使 3 名の委嘱、及び令和 4 年 4 月 1 日付で東京ヴェルディ株式会社を協議会構成団体に追加したため、24 名から 28 名に増員。

②構成員の任期は令和 5 年 3 月 31 日。

（2）座長・副座長

北区リレーションシップ協議会のレガシーとして継続性を保つため、引き続き、東洋大学学識経験者を座長、北区町会自治会連合会長を副座長としたい。

(3) 議 題

主に下記に関することについて報告事項・協議事項に分け、議題として取り上げる。

- ・「トップアスリートのまち・北区」の推進に関すること
- ・東京 2020 大会レガシーに関すること
- ・協議会構成組織・団体の連携に関すること
- ・そのほか、北区のスポーツ推進に関すること

(4) 開催頻度

年間 1 ～ 2 回程度の開催。そのほか開催が必要と判断した際には随時開催する。

3 スポーツ推進課トップアスリートのまち推進係について

スポーツ推進課トップアスリートのまち推進係は令和 4 年度より新設された係であり、令和 3 年度で廃止となった東京オリンピック・パラリンピック担当課が実施してきた、東京 2020 大会関連事業や「トップアスリートのまち・北区」推進に関する事業を引き継いで実施していく。

トップアスリートのまち・北区推進協議会資料
令和 4 年 6 月 29 日
スポーツ推進課

「トップアスリートのまち・北区」 の取組みに関する報告及び今後の展開について

1 要 旨

第 11 回北区リレーションシップ協議会（令和 3 年 11 月）後に実施した、「トップアスリートのまち・北区」推進に関連した取組みを報告する。

なお、今後は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下東京 2020 大会という。）開催の一周年を記念して実施する東京都の取組みと連携し、東京 2020 大会を地域のレガシーとするため、東京 2020 大会に出場した北区ゆかりのアスリートと地域がつながる取組みを検討し、進めていく。

2 事業報告（令和 3 年度）

（1）聖火リレートーチ巡回展示

東京 2020 大会の区内聖火リレーは、オリンピック・パラリンピックどちらも公道での走行は実施できなかったものの、子どもたちに東京 2020 大会が実施されたことを身近に体感してもらうことを目的に、令和 4 年 1 月～3 月の期間、区内小・中学校、保育園、幼稚園、認定こども園を対象に聖火リレートーチ巡回展示を実施した。

○実施校・園：小学校 11 校、中学校 2 校、認定こども園 1 園

○展示物：聖火リレートーチ（オリ・パラ）

聖火ランナーユニフォーム（オリ・パラ）

聖火リレーフォトパネル

今後も聖火リレートーチや東京 2020 大会物品を、区内施設や区内校・園へ展示・貸出していく。

（2）北京 2022 冬季オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業

令和 4 年 2、3 月に中国の北京で開催された冬季オリンピック・パラリンピックに、北区ゆかりのアスリートが出場した。区ではアスリートの出場情報や結果等を区 HP や SNS で発信した。

鈴木沙織選手については、大会前に壮行会（オンライン）、大会後には報告会（対面）を実施した。

○出場アスリート・大会結果

オリンピック

・小池詩織選手（区内企業所属（日本製紙総合開発株式会社））

アイスホッケー女子：初の決勝トーナメントに進出し 6 位

- ・鈴木沙織選手（区内企業所属（城北信用金庫））
フリースタイルスキー・女子ハーフパイプ：予選 15 位

パラリンピック

- ・小池岳太選手（元北区在住）
男子滑降（立位）21 位
男子スーパー大回転（立位）24 位
男子スーパー複合（立位）スーパー大回転 途中棄権
男子大回転（立位）14 位
男子回転（立位）18 位

(3) 北区スポーツ大使委嘱式 == 別紙参照 ==

「トップアスリートのまち・北区」推進や北区の魅力発信を図るため、区ゆかりのトップアスリートで、東京 2020 大会メダリストの宇山賢氏（元フェンシングエペ）、小川仁士氏（車いすラグビー）、澤田優蘭氏（パラ陸上競技）の 3 名を北区スポーツ大使に委嘱することとし、令和 4 年 3 月 28 日に委嘱式を実施した。

北区スポーツ大使は上田春佳氏、石野枝里子氏、高橋勇市氏と合わせ、合計 6 名となった。

3 事業報告（令和 4 年度）

(1) 第 19 回アジア競技大会（卓球競技）選手選考会 == 別紙参照 ==

北区のトップアスリート直伝教室（卓球）事業に長年協力いただいている日本卓球協会から、令和 4 年 9 月に中国で行われるアジア競技大会の国内最終選考会を北区で実施できないかとの依頼を受け、4 月 9 日（土）・10 日（日）の 2 日間、北区共催行事として赤羽体育館にて実施した。

区民限定で事前申込制の試合観戦も行った。

○日時：令和 4 年 4 月 9 日（土）・10 日（日）

○会場：赤羽体育館 メインアリーナ

○試合ルール：男女各 8 名を 2 組に分けた総当たり戦。各組の 1 位同士で決勝を行い、優勝者には、アジア競技大会シングルスの出場権、各組 2 位までの選手は団体戦等の出場権が与えられる。

○出場選手：男子 A 組 戸上隼輔、及川瑞基、吉山僚一、曾根翔

B 組 吉村真晴、松下大星、横山晟 棄権：有延大夢
優勝 吉村真晴（決勝：吉村真晴 4－3 戸上隼輔）

女子 A 組 木原美悠、伊藤美誠、橋本帆乃香、加藤美優

B 組 平野美宇、佐藤瞳、石川佳純、南波侑里香
優勝 平野美宇（決勝：平野美宇 4－0 木原美悠）

※女子は北区ゆかりのアスリート同士の決勝となった。

○区民観戦：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各日区民 85 名限定で無料観戦者を募集。

2 日間で170名の定員に対し1,116名の応募（約 6.5 倍）があった。

※選考会 2 日目終了後、引き続き赤羽体育館でナショナルチームの公式ウェア発表記者会見を実施し、張本智和選手や早田ひな選手等も参加した。この 2 選手については、すでに別大会でアジア競技大会の代表に内定している。

（2）北区スポーツコンダクター制度

区内学校・園や区内団体が実施する事業にアスリートを派遣する制度を令和 4 年度も継続して実施している。6 月時点で 7 校の小学校から申請があり、高橋勇市氏、宇山賢氏、澤田優蘭氏、山田美諭氏等の派遣を予定している。

申請は随時受付中。

（3）第 24 回夏季デフリンピック競技大会出場報告会

令和 4 年 5 月にブラジルで第 24 回夏季デフリンピック競技大会が開催され、区内在住の山田真樹選手（陸上競技）が出場した。山田選手を北区役所に招き、大会出場報告会を実施した。

※日本選手団は大会期間中の選手団内での新型コロナウイルス感染者の増加により、大会途中での全競技の日本代表選手の出場辞退を決定した。そのため、山田選手は 100m には出場した（7 位）ものの、4×100m リレーやメダル獲得を期待されていた 200m 等には出場することができなかった。

○日時：令和 4 年 6 月 27 日（月）

○山田真樹選手：2017 年 デフリンピックトルコ大会

200m 金メダル

4×100m リレー金メダル

400m 銀メダル

2021 年 第 18 回日本デフ陸上競技選手権大会兼

第 24 回夏季デフリンピック競技大会日本代表選手選考競技会

100m 銀メダル

200m 金メダル

4 今後の予定

東京 2020 大会開催を契機として創出された関連事業をレガシーと捉え継続するとともに、大会一周年を記念した取組みを盛り込みながら、スポーツを軸とした地域活性化及び魅力発信に取り組む。

東京都、NTCやJOC、北区ゆかりのアスリート等と広く連携しつつ、持続的に「トップアスリートのまち・北区」の発信を推進していく。

(1) JOC オリンピック教室

JOC とパートナー都市協定を締結している北区では、オリンピック・ムーブメントの推進を目的に、区内中学校を対象にオリンピック等が教師として指導を行うオリンピック教室を毎年度開催している（JOC 主催）。

○令和 4 年度実施校：稲付中、飛鳥中、桐ヶ丘中、浮間中

(2) 車いすフェンシング大会

一般社団法人日本パラフェンシング協会主催の大会を赤羽体育館で実施する。主催団体と連携している一般社団法人東京都車いすフェンシング協会へは、車いすフェンシング教室実施の委託をしている。

○日時：令和 4 年 7 月 30 日（土）

○場所：赤羽体育館

○出場選手：男女日本代表クラスの選手 10～15 名

(3) 東京 2020 大会関連物品の展示・貸出

東京 2020 大会開催一周年という時期を活用し、東京都と連携（一周年エンブレムの使用等）しながら、聖火リレートーチや組織委員会からの譲渡物品の区内施設展示や貸出を行っていく。

（その他北区ゆかりのアスリート等と連携した主な事業）

令和 4 年度 スポーツボランティア養成講座

トップアスリート直伝サッカー教室

（講師：東京ヴェルディ）

トップアスリート直伝卓球教室

（講師：日本卓球協会）

オリンピックスケート教室 ほか

1 北区スポーツ大使委嘱式

- 宇山賢（うやまさとる）氏
東京 2020 オリンピック フェンシングエペ男子団体金メダル
北区在住
- 小川仁士（おがわひとし）氏
東京 2020 パラリンピック 車いすラグビー銅メダル
第三岩淵小学校卒業、稲付中学校卒業
- 澤田優蘭（さわだうらん）氏
東京 2020 パラリンピック
陸上混合 400m ユニバーサルリレー銅メダル
陸上女子 100m（視覚障害 T12）準決勝進出
陸上女子走り幅跳び（視覚障害 T12）5 位入賞
岩淵保育園卒園、第四岩淵小学校卒業、順天中学校卒業

2 第 19 回アジア競技大会（卓球競技）選手選考会

本選考会は各種メディアで報道された。下記写真は報道の一部。

○NHK ニュース



○ネットニュース

【卓球】伊藤美誠「実力負け」アジア大会シングルス代表逃す 17 歳・木原美悠に完敗

完敗を認めるしかなかった。卓球のアジア大会代表選考会（10日、赤羽体育館）、東京五輪でメダル3つを獲得した伊藤美誠（21歳、シングルス代表入り）を逃した。

予選A組で2勝を挙げた伊藤は、同じく2勝の木原美悠（17歳、エリートアカデミー）と対戦。序盤から主導権を握ることができず、第2、第3ゲームを連取するも2-4で早稲負けを喫した。試合後は「お互い本気だったと思う。とした上で10-4で負けでもおかしくない試合。敗退して落ちるも落ちながらできたけど、最終的に実力なので、そこで実力負けだなと感じました」と振り返った。

ラリーからの欠点や木原に一段で位置められるシーンも見受けられ、この日は「（相手がい）すべて上回っていた」。続けて「丹白（ひな）選手並みのパワーがあるので、そこを上回ろうと思わなくてもいいと思うけど、サーブだったり、レシーブ、ラリー力に欠けるべき」と今後の課題を口にしました。

2年後のパリ五輪に向けては国内での選考会が重視される。「海外の選手にも国内の選手にも勝てる、どこの大会でも勝てる選手になっていく」と伊藤。さらなる進化を希望し「また次の大会に向けて頑張れるように頑張ります」と前を向いた。

○TBS 公式ツイッター（閉会式）

※しづさわくん贈呈



○日本卓球協会記者会見の様子

※オンラインライブ配信（TBS）



トップアスリートのまち・北区推進協議会資料
令和 4 年 6 月 29 日
スポーツ推進課

ハンガリー関連事業の展開について

1 要 旨

昨年度、東京 2020 オリンピック競技大会時に実施したハンガリー柔道協会及びフェンシング連盟の事前キャンプについて、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）対策に万全を期した上で実施した。選手は多数のメダルを獲得し、選手や関係者は全員無事に帰国した（帰国後の感染報告もなし）。区滞在中は、区民の練習見学や事後交流を実施した。

令和 4 年度以降も引き続き、「トップアスリートのまち・北区」の発信を一層推進していくため、同国両競技団体とのスポーツを通じた交流を検討していく。

2 方 針（現 況）

ハンガリー選手団が大会等で来日するタイミング、同国両競技団体の現地での動向や国内ハンガリー関連団体等の事業にあわせて、区として交流事業を検討し実施していく。

令和 4 年 5 月 22 日（日）には、「北とびあ中央ヨーロッパこども映画祭（主催：THE MUSIC PLANT、共催：北区文化振興財団）」の開催にあわせて、北とびあ 1 階区民プラザにて、区とハンガリーのこれまでの取組みを紹介する展示を行った。

3 今後の予定

（1）ハンガリー柔道協会トート会長のヨーロッパ柔道連合会長就任

令和 4 年 6 月 17 日（金）、ハンガリー柔道協会トート会長のヨーロッパ柔道連合（EJU）会長の就任が発表され、区と東京商工会議所北支部による就任祝いメッセージの送付を予定している。

（2）柔道グランドスラム東京 事前キャンプ

令和 4 年 12 月 2 日（金）～4 日（日）、東京体育館にて柔道グランドスラムが開催される。開催にあわせて、ハンガリー柔道選手団が来日し北区で事前キャンプを実施する予定。

滞在中の練習見学や交流事業を検討する。

（3）その他

区民とのオンライン交流やスポーツ教室、ハンガリー応援団を活用した PR 活動、区内団体や教育機関等と連携した事業を検討していく。

トップアスリートのまち・北区推進協議会資料
令和 4 年 6 月 29 日
スポーツ推進課

協議会内での情報共有・発信について

1 要 旨

「トップアスリートのまち・北区推進協議会」という新たな名称のもと、協議会内での連携を今後幅広く行っていくため、協議会内のより密接な情報共有及び発信の場を構築する。

2 事務局を中心とした協議会内の情報共有・発信について（案）

（1）北区ホームページの活用

協議会構成団体がそれぞれどのような活動・事業を行っているのかを区 HP に集約する（第一段階として、各団体の HP リンクを掲載する等）。また、周知したいイベント等がある場合、事務局にご連絡いただき、その情報を区 HP に掲載する。

協議会構成団体の活動を一つのページに集約し、区が情報共有のハブとしての役割を持つことで、協議会内での情報共有及び閲覧した方が様々な団体の情報を得やすくなり、協議会団体及びトップアスリートのまち・北区への興味・関心を持ってもらうきっかけとなる。

（2）情報発信について

区を中心とした情報発信について、区 HP への掲載やその他広報ツールの活用等、方法を調整していく。

3 協議会構成団体と連携した情報発信について

東洋大学（協議事項 2 において後述）を始めとした、協議会構成団体の人員、広報ツール、広報知識を活用した情報発信を検討していく。

トップアスリートのまち・北区推進協議会資料
令和 4 年 6 月 29 日
スポーツ推進課

協議会内での事業連携について

1 要 旨

「トップアスリートのまち・北区」の幅広い推進を目的に、区内団体と連携した事業の展開を検討していく。

2 東洋大学との連携

(1) 東洋大学施設の活用

東洋大学赤羽台キャンパスは、令和 5 年 4 月に新校舎・図書館・体育施設が完成予定。体育施設は収容人数数千の体育館やアーバンスポーツを実施できる設備など、様々なニーズに対応したものとなっている。

北区は東洋大学と連携し、スポーツ教室や日本卓球協会を始めとする団体が主催する各種大会の開催を、赤羽台キャンパスの体育施設で実施することを検討している。

(2) 学生との連携

東洋大学の学生と連携し、事業の企画から運営までを共同で実施していくことを検討している。また、広報についても、学生（ゼミ）が所有する広報ツールの活用や、学生ならではの意見を取り入れ、行政の広報では届きづらい範囲に向けた周知が可能と考えている。

スポーツ推進課が掲げるスポーツ推進だけではなく、スポーツを通じた健康づくりに重点を置いた事業や、学生の教育ボランティア・インターンの受入れといった、スポーツに関連する幅広い部署との連携が今後期待できる。

3 東京ヴェルディ株式会社との連携

(1) スポーツの推進及び連携に関する協定

北区は東京ヴェルディ及び日テレ・東京ヴェルディベレーザと上記協定を令和 2 年度に締結しており、スポーツ教室の実施や、区内地域団体と連携した地域貢献事業等を行っている。

(2) 日テレ・東京ヴェルディベレーザとの連携

味の素フィールド西が丘をホームとしている日テレ・東京ヴェルディベレーザと連携し、「トップアスリートのまち・北区」の推進を図る。

WE リーグホーム戦での北区民を対象にした観戦チケットの招待・優待（北区民観戦 DAY）や、北区応援サポーター寄附制度（ふるさと納税寄附

金)への協力等、様々な事業を行っている。

今後は「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」チームを、新たな北区スポーツ大使に委嘱し、更なるスポーツ推進や区内地域の盛り上げといった連携を検討している。

4 北区スポーツ大使との連携

高橋勇市氏、上田春佳氏、石野枝里子氏、そして新たに委嘱した宇山賢氏、小川仁士氏、澤田優蘭氏にご協力いただき、「トップアスリートのまち・北区」のPR及び推進を図る。区としてはスポーツイベントでの起用やスポーツコンダクター制度による派遣等を行っていく。

5 その他

各事業の実施に際して、積極的に区内関連団体と連携しオール北区で取り組んでいく。上記事業も含め、協議会構成団体と区、団体同士が連携を検討できる場として、トップアスリートのまち・北区推進協議会を機能させていく。

令和4年4月
東京都生活文化スポーツ局

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 1周年記念事業（都内非営利団体等向け）について

東京2020大会のレガシーを将来に継承するため、以下の要件に該当する事業を東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会1周年記念事業として承認します。

プログラムの概要

1 実施期間

12月

原則的に2022年7月から同年10月の間であること。
(申請受付期間：2022年4月1日から事業実施の原則2か月前まで)

2 実施主体

・都内に拠点のある以下の非営利団体等

スポーツ関連団体、経済関連団体、国際機関・大使館、公益法人等、
大学・高等専門学校、専修学校（専門・一般）・各種学校、
自治会・町内会等・商店街、その他非営利団体等

詳細については「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会1周年
記念事業 ガイドライン（都内非営利団体等向け）」をご確認ください。

3 対象事業

・東京2020大会のレガシーの推進に資する事業

以下いずれかの要素を含む事業

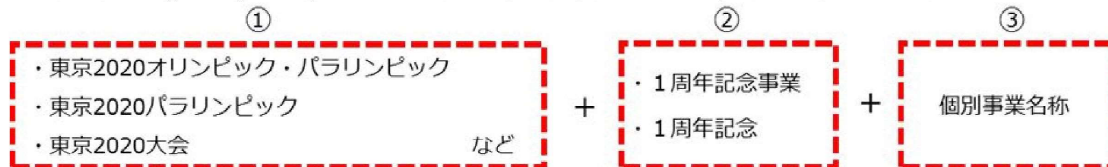
「安全・安心」「まちづくり」「スポーツ・健康」
「参加・協働」「文化・観光」「教育・多様性」
「環境・持続可能性」「経済・テクノロジー」
「被災地復興支援」

4 活用方法

東京都に申請し、承認を受ければ次のことが可能

➤冠称の使用

以下の①と②と③を1つずつ組み合わせた名称が使用可能



➤1周年記念エンブレムの使用

承認を受けた記念事業の広報物等に1周年記念エンブレムが使用可能
※1周年記念エンブレムのデザインは、決まり次第ご案内いたします。

注意事項

- 以下の事業は対象とはなりません。
- ・IOC、IPC、JOC及びJPCの各パートナー企業、放送権者の権利を侵害するもの
 - ・営利を目的とするもの
 - ・特定の宗教の布教・勧誘または政治的な宣伝・主張を目的とするもの 等
- 承認済み事業であっても、ガイドラインに違反した場合や、その他東京都等においてエンブレム等の使用を不相当と認める場合には、承認の全部または一部を取り消す場合があります。

申請の流れ

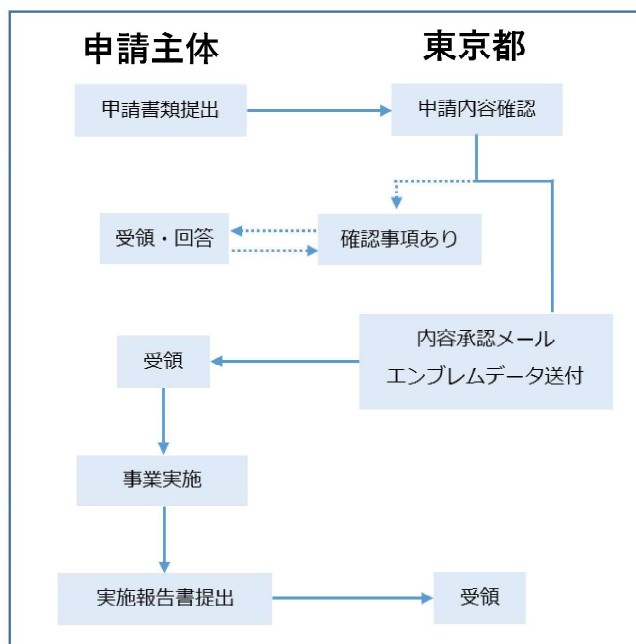
【必要な手続き】

①申請

- ・実施申請書
- ・団体証明書類
- ・事業概要資料
- ・誓約書兼同意書
- ・エンブレム使用申請書

②実施報告

- ・報告書



申請書提出、お問い合わせは

生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部
スポーツレガシー活用促進課周年行事担当へ

➤申請書等送付先アドレス

S1120716@section.metro.tokyo.jp

TEL:03-5388-2493



令和4年4月22日
生活文化スポーツ局

東京2020大会1周年記念エンブレムの発表について —TOKYO FORWARD—

東京都は、東京2020大会1周年記念事業に使用する東京2020大会1周年記念エンブレムを制作しました。都内自治体や競技会場が所在する自治体などが実施する1周年記念事業にも本エンブレムを活用していただき、連携して大会1周年記念事業を展開します。



※本エンブレムは、東京2020大会の競技会場や都市装飾等で使用された5色（藍・紅・桜・藤・松葉）で展開します。

※東京2020大会1周年記念事業は、大会からの1周年の機会を捉え、大会開催の意義、感動や記憶を共有するとともに、大会を通じて生まれた数々のレガシーを活用し、そのレガシーを未来へつないでいくことを目的に実施します。

（大会1周年記念期間：令和4年7月～~~10月~~
12月）

本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。
戦略19 オリンピック・パラリンピックレガシー戦略

【問合せ】生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部スポーツレガシー活用促進課
電話 03-5388-2493